
岐阜県立岐阜高等学校

学校長 丹羽 章
学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

- 1 会議の名称 岐阜高等学校学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|--------|-----------------------------------|
| 委員 | 江口 裕國 | 丹羽歯科医院 医院長（校医） |
| | 川添 美砂子 | 元PTA副会長 |
| | 後藤 栄一郎 | 後藤木材株式会社代表取締役社長 |
| | 杉山 万里子 | 地域住民 主婦 |
| | 村瀬 康一郎 | 岐阜大学教授 総合情報メディアセンター
(委員名は五十音順) |
| 学校側 | 丹羽 章 | 校長 |
| | 岩屋 真二 | PTA会長 |
| | 井上 幸治 | 事務部長 |
| | 山田 英貴 | 教頭 |
| | 居波 裕 | 教頭 |
| | 堀 英男 | 教務主任 |
| | 高木 雅紀 | 生徒指導主事 |
| | 市川 浩通 | 進路指導主事 |
| | 園部 利彦 | 学校活性化委員長 |
- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成28年1月27日（水） 13:30～15:45 岐阜高等学校校長室、大会議室
委員5人と学校側9人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 授業見学
- (2) 今年度の取組について報告
- ・学校長より
本校は、学校経営計画（高等学校版マニフェスト）の学校教育目標に掲げる3点を大切にし、自学自習ができる生徒、主体的に行動できる生徒、自己決定ができる生徒を育てている。また、「グローバルリーダー養成事業」により、学校活性化委員を中心として、将来、リーダーとして活躍できる生徒を育てている。
 - ・教務部より「生徒及び保護者等を対象とする学校アンケートの結果の報告」
ほとんどの項目について高い評価を得て、本校の教育活動について理解を得ているが、昨年度から大きな変化があった項目もあった。特に、あてはまるかどうか「わからない」と回答を得た項目について積極的な広報や報告により理解を得る必要があると分析している。
 - ・教務部より「自己評価の報告」
確かな学力の育成に向けて、教育課程、学校行事、課題の内容等の検討をした。平成32年度導入予定の大学入学希望者学力評価テストへの対応が課題である。
 - ・進路指導部より「自己評価の報告」
確かで強い学力の育成のために、分掌・学年・教科との連携・協力してサポート体制を充実させるとともに「職業・学問体験プログラム」を活用し、生徒一人一人が自らのキャリア設計を意識し行動できる自尊意識が高い生徒を育てるよう取り組んでいる。

・生徒指導部より「自己評価の報告」

高校生としてのマナーや規範意識を身につける指導とともに命の尊さをテーマにした講話や統一LHRなどを設定することにより、自他の生命を尊重する態度の育成を計る取組をしてきた。しかし、遅刻者数や交通事故件数が昨年度より微増しているため、取組の強化を図る必要を考えている。

・学校活性化委員会より「自己評価の報告とグローバルリーダー養成事業の報告」

本校の将来像の提言と3年間のグローバルリーダー養成事業を進めてきたが、「職業・学問体験プログラム」の実施数の増加や生徒が企画・運営する取組もでき、成果があった。来年度以降も、同様な趣旨で、取組を継続していく計画をしている。

テーマ	授業見学及び報告を踏まえての学校への提言等
-----	-----------------------

- 意見 1 岐阜女子高校のバスケットボールの全国優勝は、生徒たちに勇気を与えるとともに学校運営に大きな力を与え、取組の参考になるのではないかと。
- 意見 2 岐阜高校から進学を切り離すことはできない。他県の状況も参考に、予備校に頼らない岐阜高校の道筋を付けた教育を施していくことを考えると良い。
- 意見 3 教室が暑く、空気が乾燥している。加湿器などがあった方がよい。
- 意見 4 率直に言って、夢の実現のために、様々な取組がなされ、生徒たちは恵まれていると感じる。ただし、内容や回数などの精査は必要である。
- 意見 5 目標を具体化し、実践によって、どのような成果が表れるのかを予測し、評価すべきである。
- 意見 6 グローバルリーダー養成事業は、親たちも聞きたい内容の講演会があり、目標のある生徒にとっては素晴らしいものである。また、先生方の努力が目に見える。
- 意見 7 勉強だけではなく、このような体験ができるとなると、世界へ羽ばたこうとする生徒が集まってくると思う。しかし、勉強についていくのが精一杯の生徒たちや行動や能力が遅い生徒たちもいることを忘れてはいけない。また、高校で進路を定めきらず大学で進路を決定する生徒やスカート丈、靴下の色などによって、自己主張する生徒のフォローも必要である。
- 意見 8 授業参観で、生徒たちが今の世の中に関わることを学んでいることに感銘した。
- 意見 9 単に大学に入るだけではなく、岐阜高校に求められている人材の育成、例えば企業に入ってリーダーになっていく人材の育成、主体的に活動し、考えて動いていく生徒の育成の取組が求められている学校であることが理解できた。
- 意見 10 日本の大学への進学ではなく、海外のハーバード、ボストン、マサチューセッツなどの大学への進学を支援することも目指してはどうか。
- 意見 11 大人しいのがよいわけではなく、大人しくないのが悪いわけではない。自分だけのこだわり、意見を出せる生徒が大切である。
- 意見 12 何の得にもならないことはやらない生徒が多い気がする。学校が決めたこと、言われたことは正しいか、自分たちで判断するような、自分の意見を持ち、判断できる生徒を育成して欲しい。また、発言力のない生徒の意見を出せる場をつかってほしい。
- 意見 13 心に灯がともらないと意見が出ない。自分がどうしたいのか分からない者が企業内でも多い。グローバルリーダー養成事業の体験があっても、おとなしい子は次のステップへ到達しない。
- 意見 14 現代は、課題解決力より、課題発見力が大事である。小、中学校でリーダー的な存在だった生徒が多いはずだが、集団の中でもまれてやってきたのではなく、先生のレールの上でやってきた生徒が多いのではないかと考える。
- 意見 15 先生が、自身が好きなことを教えていくのだという熱意を持って指導していることがよくわかった。生徒にも、あることが好きな生徒が、そのことを他の生徒に教え、教わった生徒は喜んでいるという構図があり、理想的である。

- 意見 16 現在学んでいることは、将来どのように職業につながっていくのか、どのように生かされていくのかということをお伝えしたり、話し合ったりすることが必要である。
- 意見 17 教育は褒めることであり、それが生徒の自主性、自立心を目覚めさせると考えている。

6 会議のまとめ

本日は、委員の皆様から、授業のこと、グローバルリーダー養成事業のこと、学校経営など多方面にわたり貴重なご意見やご提言をいただいた。今後、本校の学校運営の参考にして、本校として対応できるものについては取り組んでいきたい。